

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点	2期供用開始後(H19.8)～		現行(H27.3末時点)
				調査頻度	実施期間	
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	11地点(常時) 10地点(定点)	常時観測	将来にわたり実施	将来にわたり実施
	飛行経路・高度		年1回程度 (当年度1～4回)	運用開始3年後まで	新飛行経路導入(H10年)以前に設けられた調査地点はH23から休止し、航空機離着陸回数が年間18万回程度に達した段階で再開協議する。新飛行経路導入後に設けられた調査地点は、関西国際空港の飛行経路問題に係る協議会等での協議結果に基づいて調査の要・不要を決定する。	
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	数地点			H24年度末で終了(H25.8変更)
大気質象	窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、炭化水素(メタン・非メタン)、風向・風速 二酸化硫黄 窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、風向・風速	空港湾沿岸部	1地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	常時測定
		空港島周辺海域	2地点			
水質	透明度 水温、塩分、pH、DO、COD、T-N、T-P、クロロフィルa、SS	空港島周辺海域	4点	年4回(四季)		H22.5調査で終了(H22.3変更)
		内部水面海域	3点			平成28年7月まで(H25.8変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、硫化物、T-N、T-P	空港島周辺海域	4点	年2回 (夏季、冬季)		H22.5調査で終了(H22.3変更)
		内部水面海域	3点	年4回(四季)	運用開始3年後まで	平成28年7月まで(H25.8変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
海域生物	植物プランクトン	内部水面海域	2点			H22.5調査で終了(H22.3変更)
	動物プランクトン	空港島周辺海域	4点	年4回(四季)		平成28年7月まで(H25.8変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
陸生動物(鳥類)	底生生物	内部水面海域	3点			H22.5調査で終了(H22.3変更)
		空港島周辺海域	4点	年3回 (春季、夏季、秋季)		平成28年7月まで(H25.8変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
陸生動物(鳥類)	鳥類の飛来・生息	1期及び2期空港島内	定点及び調査ライン	3年ごとに月1回		H20年度調査で休止(H21.8変更)
		空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回	運用最大時の3年後まで	H19年度調査で休止(H20.8変更)
	タカ類の渡り	タカ類の渡りのルート	1点	3年ごとに年1回		H22年度調査で休止(H22.8変更)